

施策マネジメントシート(平成26年度の振り返り、総括)

作成日 平成 27 年 7 月 14 日

基本目標	I	誰もが安心して安全でゆとりを感じるまち	主管課	名称	総務課
				課長	増田 伸之
施策	11	交通安全対策の推進	関係課		

施策の目的	対象	意図	基本事業名	対象	意図
	①町民	①交通事故にあわない、起こさない。		基本事業	1 交通安全意識の高揚
			2 交通安全施設の整備	町民	安全に通行できる。
			3		
			4		
			5		

成果指標	成果指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	A	交通人身事故発生件数(町内/町民が第1当事者)	件	実績値	94/107	114 /130	82/93	90/108		
目標値					93/105	91/102	90/99	88/96	87/93	85/90
B	交通事故による人的被害者数(死者/傷者)	人	実績値	1/133	1/162	1/109	0/141			
			目標値		0/131	0/129	0/127	0/125	0/123	0/120
C	交通安全施設の要望に対する設置率	%	実績値	64.3	62.2	68.8	90.0			
			目標値		80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0
D			実績値							
			目標値							
E			実績値							
			目標値							
F			実績値							
			目標値							

指標設定の考え方と実績値の把握方法

A) 直接的な設問であり、件数が減れば目的が達成されているといえるため成果指標とした。
 交通人身事故統計年報による
 ※1月～12月の数値

B) 直接的な設問であり、件数が減れば目的が達成されているといえるため成果指標とした。
 交通人身事故統計年報による
 ※1月～12月の数値

C) 数値が高まれば、目的が達成されているといえるため成果指標とした。
 ※交通安全施設の設置箇所数/地区からの要望箇所のうち、必要と判断された箇所数

目標値設定の考え方

A) 人身事故発生件数(町民が第1当事者)は、人口が毎年2%減少すると予測されるため、成り行きでは毎年2件減少する。毎年3件ずつ減少させることを目標とする。人身事故発生件数(町内)のうち、約半数が町民が第1当事者であることから、成り行きでは毎年1件減少する。目標として2年で3件の減少をめざす。【交通人身事故第1当事者市町村別居住状況(人口10万人あたり)榛東村:1,113人(H23)、昭和村:570人(H23)、沼田市:568人(H24)、片品村:563人(H23)、川場村:391人(H23)、みなかみ町:514人(H23)】

B) 交通事故による死者数は0件をめざす。傷者については、交通事故の約半数が町民であることから、成り行きでは人口の減少に伴って毎年1件減少と設定。交通人身事故発生件数との相関関係が強い指標であり、事故1件あたりの負傷者数を平成23年度実績の1.41と想定して、平成29年度には85件×1.41=120人をめざす。

C) 要望箇所数は、交通安全施設の整備により減少傾向にあると考えられる。設置の必要性はあるが協力を得られないなどの外的要因(用地問題、国・県協議等)により実施できない場合もあり、成り行き値は要望に対し70%で見込んでいる。目標値は、交通安全に対する必要性を関係者に訴え、理解・協力してもらうことにより80%の設置をめざす。

施策のための目的・目標達成	1. 町民(事業所、地域、団体)の役割	2. 行政(町、県、国)の役割
	①交通安全を意識し、交通事故をおこさないようにする。 ②歩行者、運転者ともに交通ルールを遵守する。	①関係機関と連携し、交通安全施設の整備を推進する。 ②交通事故の防止を図るため、交通安全の啓発活動を推進する。 ③警察に要望していることについて、1日も早く実現してもらえるようにより具体的に伝え、連絡を密にする。

施策を取り巻く状況	1. 施策を取り巻く状況(対象や法令等)は今後どのように変化するか?	2. 施策に対して、住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか?
	高齢化に伴い高齢運転者の増加が予想される。	①交通事故をなくしてほしいという期待がある。 ②ガードレールやカーブミラー等を設置するなど交通安全対策を進めているが、交通事情の変化により新たな場所に設置を求める声がある。 ③通学路の安全対策を求める声がある。 ④消雪・融雪施設の設置を期待されている。

施策	11	交通安全対策の推進	主管課	名称	総務課
				課長	増田 伸之

実績比較		背景・要因	
施策の成果水準の分析と背景・要因の考察	① 時系列比較	<input type="checkbox"/> かなり向上した。 <input type="checkbox"/> どちらかといえば向上した。 <input type="checkbox"/> ほとんど変わらない。(横ばい状態) <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば低下した。 <input type="checkbox"/> かなり低下した。	<p>① 町内の交通人身事事故発生件数の経過は、平成25年は82件だったが、平成26年度は90件と8件増加している。また、町民が第1当事者となった交通人身事事故発生件数は108件で25年の93件から15件増加している。このうち第1当事者が町民であった事故は40件から57件になっており、17件増加している。交通人身事事故発生件数について時系列では、昨年の28ポイント減から9.8ポイントの増で県全体の7.7ポイント減を大きく上回っている。</p> <p>② 町内の交通事故負傷者数は、平成21年124人、平成22年136人、平成23年134人、平成24年は163人、平成25年は110人。平成26年は141人となり31人の増加となっている。住民やドライバー、行政の努力の影響がどのように現れているのかは不明。</p> <p>③ 交通安全施設の平成25年度は要望32件のうち22件実施した。平成26年は20件の要望に対し18件実施している。設置率は90%であった。</p>
	② 他団体との比較	<input type="checkbox"/> かなり高い水準である。 <input type="checkbox"/> どちらかといえば高い水準である。 <input type="checkbox"/> ほぼ同水準である。 <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば低い水準である。 <input type="checkbox"/> かなり低い水準である。	<p>① 平成26年中の利根沼田地区交通事故発生件数は、沼田市289件、片品村10件、川場村7件、昭和村22件、みなかみ町90件となっている。10万人あたりの交通事故発生件数では、沼田市590.0件、片品村224.0件、川場村189.0件、昭和村299.9件、みなかみ町457.8件となっており、近隣市町村と比較して沼田市に次いで多い。</p> <p>② 平成26年中の人口10万人あたりの交通人身事事故発生件数のうち、第1当事者数を県内市町村で比較すると、最良が嬭恋村で216.21件、最悪が玉村町で953.57件となっている。近隣市町村の順位は川場村、片品村、沼田市、昭和村、みなかみ町の順となっている。昨年に比べると悪くなっている。一方で、人口10万人あたりの悪質事故(無免許、飲酒、速度違反)に限ってみると、みなかみ町は15.26人で昨年のワースト19位から7位と順位が悪くなっている。平成26年度の内訳は、飲酒2件、速度超過の1件の3件であり、昨年と同様な件数となった。近隣市町村では、川場村、沼田市、昭和村、みなかみ町、片品村の順であり悪くなっている。県全体の悪質事故は無免許44件、飲酒112件、速度103件、計259件である。</p>
	③ 目標の達成状況	<input type="checkbox"/> 目標値を大きく上回った。 <input type="checkbox"/> 目標値を多少上回った。 <input type="checkbox"/> ほぼ目標値どおりの成果であった。 <input checked="" type="checkbox"/> 目標値を多少下回った。 <input type="checkbox"/> 目標値を大きく下回った。	<p>① 交通人身事事故発生件数の実績値は、町内で発生した事故件数は、目標を達成した。町民が第1当事者の件数は目標値99件に対して108件で、目標値を下回っている。</p> <p>② 交通事故による人的被害者数の実績値は、死者数0人は達成したが、傷者141人であり、目標値を下回っている。</p> <p>③ 交通安全施設の要望に対する設置率の実績値は90.0%であり、目標値を上回った。町が実施可能な施策は予算の制限もあるが、ほぼ要望を満たす状況であるが、要望には警察が設置するものも含まれており、警察への要望は、順番待ちの状況がある。</p>
成果実績に対する取り組みの総括	<p>① 四季の交通安全運動期間中には、警察や交通安全協会、交通指導員、交通安全会女性部等と連携して、交通事故防止を呼びかけた。</p> <p>② 子どもが交通事故にあわないように、交通安全教室を幼稚園やこども園、各小中学校で実施した。</p> <p>③ 交通指導員の協力を得て、各小中学校における交通安全指導に加え、町民体育祭や地区の祭り等イベントにおいて交通事故防止の啓発活動を行った。</p> <p>④ 交通安全対策施設整備事業として、交通安全対策特別交付金(国費)等により、カーブミラー(24件)・ガードレール(120.5m)・区画線(2,465m)などの整備を行った。</p> <p>⑤ 交通安全だよりを各行政区へ配布し、地域における交通安全を啓発した。</p> <p>⑥ 水上地区では交通安全会が独自に組織されており、新入学児童の下校指導や四季ごとのシートベルト着用街頭指導などを実施している。</p> <p>⑦ 通学路における危険箇所などについて、国土交通省や沼田土木事務所、沼田警察署、教育関係者、町で点検・確認を行い、安全確保のための協議を行った。</p>		

基本事業名	今後の課題	平成28年度の取り組み方針(案)
1 交通安全意識の高揚	<p>全般的には意識向上に向かってはいるが、依然として狭隘路(きょうあいろ)においても減速せずに走行する車が多い。歩行者(特に中高生)もルール無視の横列歩行などが見られる。どちらも通勤や通学に使用される生活路でのルール違反が目立つ。</p> <p>高齢者(65歳以上)の自動車運転操作の誤りによる事故が増加している。引き続き、高齢者の安全運転を指導するとともに、安全確保のための運転制限(高齢者免許返納)も課題である。</p>	<p>通学路の危険箇所について、関係団体(警察、教育課、地域整備課等)より情報収集し、身近にある危険箇所を各小中学校の安全指導において啓発する。</p> <p>警察や県土木等と連携し、スピード抑制等交通事故防止のための具体的な方策を検討する。</p>
2 交通安全施設の整備	<p>交通量の少ない道路では、老朽化した施設が改善の対象として顧みられない状況がある。</p> <p>狭隘道路へ設置した施設への接触事故などがある。</p> <p>交通安全施設設置について、必要性の判断基準をつくる必要がある。また、交付金の用途に縛られ、予算不足で実施できないケースがある。</p>	<p>老朽化した施設の更新や必要な交通施設の整備にかかる方針を検討し、区要望のみに偏らない整備方法を検討する。</p> <p>警察や県土木に要望後、改善の見られない施設については、必要に応じ繰り返し要望していく。</p>
3		
4		

11 交通安全対策の推進

11-01-000001 交通指導隊運営事業		担当組織	総務課 消防・防災グループ			事業費	4,593,435円								
予算科目		会計	一般会計	款	2総務費	項	1総務管理費	目	12交通安全対策費						
事業概要	手段と実績	・四季の交通安全運動(利根沼田統一事業4/4・9/19・12/1など)・各行事における交通整理及び雑踏整理(町民体育祭9/28・茂左衛門地蔵尊9/23・3/21・藤原湖マラソン大会8/24・たぐみの里豊楽まつり10/26など)・町内の小中学校を対象とした交通安全教室(小学校6校・中学校1校で実施)			対象	交通指導員			意図	交通指導員の能力向上					
	交通指導員の出勤回数(のべ人数)	平成25年度	平成26年度	単位	交通指導員	平成25年度	平成26年度	単位		交通指導員の出勤回数(のべ人数)	平成25年度	平成26年度	単位		
評価結果と今後の方向性		廃止・休止等 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input checked="" type="radio"/> 目的妥当性 <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し	<input checked="" type="radio"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携	<input checked="" type="radio"/> 効率性 <input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更	<input checked="" type="radio"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化	コスト 削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下 〇 × × × × ×			全体総括 町村合併により、旧町村単位で交通指導員数が削減されたが、出勤する回数はそれほど減っていないため、交通指導員にかかる負担が増えている。そのため、指導員からは負担軽減を求める声がある。イベント主催者と協議し、交通指導員の出勤時間の短縮等、調整を行っている。			課題とその解決策 小・中学校の交通安全教室などは別として、各種イベントの交通整理をすべて交通指導員に出勤してもらうのではなく、費用や話し合いがつけば、民間の警備会社に一部委託するようにしていきたい。		

11-01-000002 交通安全意識啓発事業		担当組織	総務課 消防・防災グループ			事業費	469,833円								
予算科目		会計	一般会計	款	2総務費	項	1総務管理費	目	12交通安全対策費						
事業概要	手段と実績	四季の交通安全運動期間内に交通安全啓発活動を実施。・利根沼田統一事業(4/4・9/19・12/1・夏は荒天のため中止)・シートベルト街頭指導(4/4・9/19・12/1・水上地区・夏は荒天のため中止)・ショッピングママ作戦(9/26・12/5・月夜野地区)			対象	一般住民			意図	交通安全ルールを周知し、交通事故にあわないようにする。					
	交通安全運動イベント件数	平成25年度	平成26年度	単位	人口	平成25年度	平成26年度	単位		交通事故死傷者数	平成25年度	平成26年度	単位		
評価結果と今後の方向性		廃止・休止等 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input checked="" type="radio"/> 目的妥当性 <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し	<input checked="" type="radio"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携	<input checked="" type="radio"/> 効率性 <input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更	<input checked="" type="radio"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化	コスト 削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下 〇 × × × × ×			全体総括 現在は四季の交通安全運動期間における啓発活動が主となっており、引き続き交通事故件数の抑制につながる活動を行っていききたい。			課題とその解決策 交通安全を啓発する看板の設置や、それらに付随する交通安全施設の簡易な修繕を行う。		

11-01-000003 利根沼田交通安全センター運営費負担事業		担当組織	総務課 消防・防災グループ			事業費	63,000円								
予算科目		会計	一般会計	款	2総務費	項	1総務管理費	目	12交通安全対策費						
事業概要	手段と実績	利根沼田交通安全センター管理費負担金の支払い事務			対象	利根沼田交通安全センター			意図	運転免許更新者及び一般住民に対する交通安全教育を実施する。					
	負担金	平成25年度	平成26年度	単位	交通センター免許更新者数	平成25年度	平成26年度	単位		沼田交通安全協会会員数	平成25年度	平成26年度	単位		
評価結果と今後の方向性		廃止・休止等 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input checked="" type="radio"/> 目的妥当性 <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し	<input checked="" type="radio"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携	<input checked="" type="radio"/> 効率性 <input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更	<input checked="" type="radio"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化	コスト 削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下 〇 × × × × ×			全体総括 利根沼田交通安全センターが機能している限り、今後も負担金支出は継続する。			課題とその解決策		

11 交通安全対策の推進

11-02-000001				担当組織 総務課 消防・防災グループ				事業費		5,898,888円			
交通安全対策施設維持管理事業				予算科目 会計 一般会計		款 2総務費		項 1総務管理費		目 12交通安全対策費			
事業概要	手段と実績	交通安全施設の整備・カーブミラー(後閑・師・上津・藤原・粟沢・寺間・布施・羽場・須川他)・ガードレール(猿ヶ京温泉・新巻)・区画線(町道須川青木線・町道大沢田出水線他)			対象	交通安全施設			意図	安全な通行に資するよう、交通安全施設を整備する。			
		工事契約件数	平成25年度	平成26年度		単位	施設設置件数	平成25年度		平成26年度	単位	町内交通事故件数	平成25年度
			8	8	基		29	23	件		82	90	件
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し		有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input checked="" type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input checked="" type="checkbox"/> 事業統合・連携		効率性 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		コスト 削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下		
	各行政区からの交通安全施設の設置要望件数は増加している。各要望ごとに単体で実施すると、工事にかかる費用が増えるため、いくつかの要望をまとめて工事を実施した。		今後の改革改善案		過去に設置した多数のカーブミラーや警戒標識が、経年変化により老朽化している。今後は、これらの改修・改良にかかる費用が増加する。定期的に点検し、必要に応じて対処する必要がある。				課題とその解決策 予算執行に際し、地域整備課や群馬県警沼田警察署と協議し、より効果的に交通安全施設の整備を行う。				